

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



148号
2013年3月4日

常盤台の景観を守る会

常盤台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 区長への手紙

常盤台のまちづくりについて、今、二つの方向で区の計画が進んでいます。

一つは板橋区の景観形成重点地区に加賀地区と一緒に指定しようとする計画で、景観審議会がチェックすることになっています。

もう一つは板橋区全体にかかる「最高限度高度地区及び敷地の最低限度」で、こちらは都市計画審議会が関わっています。

どちらも行政の仕事を客観的に審議して承認していく審議会ですから、責任は重大なはずです。

任命制の各委員が独自に情報を収集しているかどうかは疑わしく、区は都合の良い情報しか提供していないと思うので、私達は各委員に資料を提供し、実情を知ってほしいと運動しているのです。去年募集されたパブリックコメントも、区は各委員の自主的閲覧に任せるというだけで、資料として配布することさえしていないのです。

2月26日、「区長への手紙」の制度を使って、区長宛に、都市計画審議会委員あてと景観審議会委員あての資料伝達を拒否した理由、及び、受け取らない理由としたこちらの文章の不備があるとすれば、どこがどう不備なのかを、それぞれ文章で回答するよう求めました。

○ 追加署名 3月15日まで

前回提出した署名は735名でしたが、その後、用紙を預けておいた方からいくつも頂きましたので、追加署名を提出しようと思います。今回ご近所に声を掛ける程度でしたので、まだ回って来ないというご不満もあるかと思っています。もし、宜しければご一報ください。用紙をお届けします。

○ ペンタックス跡地の計画は やはりマンションだった

前野町2-36-6のペンタックス跡地は相当長い期間、土壌・地下水の浄化作業をしていたが、いよいよマンション計画があきらかになった。329戸もの大型マンションで、15階地下1階、高さ44.25m。本蓮沼駅が最寄り駅だと思われるが、ときわ台駅の方が近くて、何と10分で行けるそう。競歩の選手で測ったに違いない。そして、前野町に建つのに「常盤台」の名を利用している。

またまた駅前に放置自転車がなくなる恐れがあるが、その対策はできているのだろうか。各種施設のインフラも充分考えられているのだろうか。さんとく傍のマンションもまだ売れ残りの始末ができていないし、全体的にマンションがだぶついているこの頃、なぜ建て続けるのか不思議な現象である。

売り主は東京建物と、東武鉄道だそう。

○ 不必要なガードレール

常盤台公園の四隅の角、及び長い方の途中にそれぞれ1箇所、入り口が設けられています。東北の角の入り口は隣が民家なので、他の入り口のように目立ちませんが、大事な公園入り口の一つです。そこへ入る人は、常盤台はもちろん、前野町や大和町などから、常盤台の東西を横切る通りを渡って来るのですが、まっすぐ入れないようにガードレールで塞ぐ案を土木課が言って来ました。事故が多いから、というのがその理由です。事故が多いのは確かです。車がスピードを上げすぎるからです。ガードレールを完璧に作れば、車は安心してもっとスピードを出すでしょう。それでいいのですか？

車道を通る自転車が、危険を感じて歩道に逃げようとしてもできないことになるし、住民だけでなく困る人が多いと思いますが・・・

確定申告の相談日

去る二月十三日、拙宅に届いた回覧板に板橋税務署発行の「確定申告だより」が添付されていた。これには「税理士による無料申告相談をご利用ください」という見出しとともに相談会場と相談開催の日時が記されていた。それを見てビックリ仰天！なんと常盤台地域センターで行われる相談会の開催日が一月三十一日（木）、二月四日（月）、二月五日（火）となっているではないか！「確定申告だより」が届く一週間以上も前に相談会は終わっていたのだ。

一昨年まで無料申告相談は毎年一月末から二月半ばまで板橋税務署前の空き地にテントを張って行われていた。それが混雑その他の理由で突然中止となり、代りに昨年から成増アクトホール、常盤台地域センター、高島平区民館の三会場に分かれて行われている。今年は一月二十八日に成増アクトホールからスタートして、常盤台地域センター、高島平区民館の順に開催し、合計一四日間が当てられた。

我々一般区民のほとんどは「確定申告だより」によってしかそのスケジュールを知り得ない。にもかかわらず相談日がとうの昔に終わってから情報が届いたのでは何の役にも立たないではないか？板橋税務署に直接問い合わせようと代表番号に電話するも、長々と税務担当部署の番号案内の録音を聴かされた挙句結局「確定申告だより」がどの部署の担当か分からず仕舞。八方手を尽くしてやっと総務課が目指す相手であることを突き止め担当者と話することが出来た。そこでまた怒り心頭の答えが返ってきた。

担当者曰く、「『確定申告だより』に関しては回覧用として必要部数を板橋区役所地域振興課に一月二一日付けで届け、区民向けに回覧配布するよう依頼しました。振興課の担当者に事前に電話で問い合わせたところ、一週間あれば板橋区民各戸に回覧できます、とのことでしたので成増アクトホールで一月二十八日から行われる相談会に十分間に合うと思いました」。

「一寸待ってよ！一月二一日から拙宅に回覧版が回ってきた二月十三日までにはたっぷり三週間かかっているんだぜ！何が一週間で届きますだよ！」。余りのいい加減さにあきれ果て、総務課長を呼びだして強く抗議したところ、「区役所の云い分を鵜呑みにした私どものミスでした。深くお詫びいたします」と！ちなみに今年の「確定申告だより」は昨年十二月末にはすでに出来あがっていたそう。相談者がわっと押し寄せるとのを防ぐため、特定の納税者へのみ開催日を教えて、その他の区民に対しては情報発信をわざと遅らせたのではないかとさえ勘繰りたくなる一件だ。

この件で板橋税務署にご意見のある方は(03)3962-4151(代)に電話し、録音された番号案内2まで聴いてから直ぐに2を押し、総務課の斉藤課長と直接話して下さい。○

「まちづくりニュース」では皆さんの投稿・ご意見をお待ちしています。困っていること、社会のために問題だと思ふこと、楽しい話、昔のこと、これからの街について、などなど、何でも構いませんのでお寄せください。

常盤台公園のはなづくり

ロウバイがちらほら咲きだしました。前野町の寺院ではとくに花盛りだといふのに例年よりずっと遅い開花です。ロウバイで有名な宝登山も、知人が二月二日に行ったところ、全然咲いていなかったそうです。

その一方では和水仙があちこちで咲き始めています。クリスマスローズも地中から蕾をもたげようとしています。沈丁花もつぼみを膨らませて春を待っています。

チューリップの芽がツンツンと地中から突き出してきました。春めいた暖かい雨が降れば、地中で待機していたものたちが一斉に出てくるはず。しかし、「早春賦」の歌詞のように「春は名のみの風の寒さ」です。春一番が吹いたということですが、実感としてはまだ冬、それも近年にない厳冬です。

梅は咲いています、ウグイスが来ません。やはり緑が減少しているので、自然が後退しつつあるのでしょう。良い住宅地は、自然を上手に取り込んでいるのですが、人々に庭や生垣などで身近に自然を楽しむ余裕がなくなってしまう時代が来るのでしょうか。

定例会四月六日（土）七時

「ギャラリー服部」にて